

浅野 繁

浅野 純子

浅野 みけら

館ムジカ

# ジョイントコンサート

## それぞれのソロの世界

ベートーヴェン  
幻想曲 op.77  
ベートーヴェン  
ピアノソナタ 第15番 二長調  
op.28「田園」

モーツァルト  
ピアノソナタ 第8番 イ短調  
K.310

クライスラー  
レチタティーヴォとスケルツ  
ォ・カプリース op.8  
イザイ  
6つの無伴奏ヴァイオリンソ  
ナタ op.27より 第4番 ホ短調



### 2015年5月6日(水・祝)

仙台市戦災復興記念館記念ホール

13:30開場 14:00開演

全席自由  
シングル券3,000円 ペア券5,000円

#### プレイガイド

(株)ヤマハミュージックリテイリング仙台店  
カワイミュージックショップ仙台

#### 後援

(株)ヤマハミュージックリテイリング仙台店  
カワイミュージックショップ仙台  
河北新報社

#### 主催

館ムジカ  
お問い合わせ：090-7282-5211



# やかた 館ムジカ

ムジカ【Musica】

イタリア語で『音楽』

浅野繁・純子の二人がこれまで国内外で培ってきた音楽経験を活かして、教育と演奏活動を通じ、音楽の"伝承"を発信・展開をして参ります。

## 2015年 コンサート予定

9月22日(火・祝)

グルッポ・フィガロ～小さな音楽会～  
30周年アニバーサリーコンサート  
仙台市戦災復興記念館記念ホール

11月8日(日)

第4回チャリティーコンサート&セラピードッグ  
講演会  
仙台市戦災復興記念館記念ホール



### 浅野繁

宮城県加美町出身。佐々木美佐子氏の指導でピアノを始め、後に庄司芳武、石橋ときわ、大西愛子の各氏に師事。1964年第8回全東北ピアノコンクール第1位、文部大臣賞受賞。1965年桐朋学園高校音楽科に入学。井口愛子氏に師事。1970年第39回日本音楽コンクールピアノ部門第2位入賞。1972年桐朋学園大学音楽学部を音楽賞を得て卒業。1976年文化庁在外研修員としてスイスに留学し、アルトゥーロ・ベネデッティ＝ミケランジェリ氏に師事。1980年帰国。東京、仙台を中心に各地で演奏活動を再開。ソロリサイタルの他、宮城フィルハーモニー管弦楽団(現仙台フィル)等のオーケストラと協演。またヤナーチェク弦楽四重奏団ともゲストピアニストとして共演。仙台ニューフィル、鹿児島交響楽団など、アマチュアオーケストラとの協演も行う。1994年宮城教育大学管弦楽団とベートーヴェン作曲ピアノ協奏曲全曲演奏会を行った。1974年ヴァイオリニスト小林武史氏との国際交流基金の要請による東南アジア演奏旅行。1982年同氏と日中国交回復10周年記念音楽使節。また、アメリカ、ポーランドなど、国外での演奏活動も行っている。昭和62年度宮城県芸術選奨新人賞受賞。平成7年度宮城県芸術選奨受賞。宮城学院女子大学名誉教授。

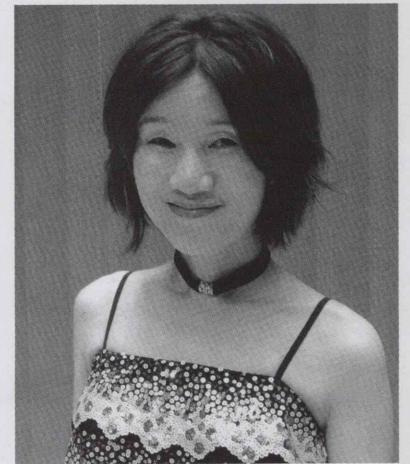
### 浅野純子

福島県出身。1977年第21回全東北ピアノコンクール第1位、文部大臣賞受賞。1984年東京音楽大学ピアノ演奏家コースを優等賞を受賞して卒業。ポーランド給費留学生としてワルシャワ・シヨパン音楽院マスターコースに留学。1986年帰国。仙台、東京にてリサイタルを行う。1990年ワルシャワにてリサイタル。1994年ポーランド・カリシフィルオーケストラと協演。1992年、1995年、1997年、仙台でリサイタル開催。1999年ポーランド・クラクフ日本美術技術センターにてシヨパン没後150周年記念リサイタルを開催。同年東京オペラシティでシヨパンリサイタルを行う。2002年、2004年、2007年、2010年仙台、東京にてリサイタルを開催。これまで八島幸男、三浦浩、斉藤久子、井口愛子、関根有子、A・ステファンスキの各氏に師事。

2008年全日本ピアノ指導者協会特別指導者賞受賞。2011年、2012年、2014年同協会指導者賞受賞。全日本ピアノ指導者協会正会員。その他様々なコンクールの審査員を務める。現在演奏活動を行うと共に後進の育成にも力を注いでいる。

宮城教育大学非常勤講師。

2012年有志団体AKTを立ち上げ、国際セラピードッグ協会に協力。チャリティーコンサートにも取り組んでいる。



### 浅野みくら

宮城県仙台市出身。4歳から木越直彦氏の指導のもとヴァイオリンを始める。その後河野芳春、小林武史各氏に師事。

2005年第7回バツハホール音楽コンクール高校生部門第1位、最優秀賞受賞。2006年より渡米、インディアナ大学ジェイコブス音楽学部にて奨励金を得て入学。2010年学士号取得。2012年修士号取得。2013年同大学院パフォーマンスディプロマ取得。同大学ではソロヴァイオリンをキャサリン・ウィンクラー、フェデリコ・アゴスティーニ、シッピ・バーンハードソン各氏に師事。室内楽には主にパシフィカ・カルテットの指導を受ける。在学中に学校内外の多数のオーケストラで交響曲、オペラ、バレエ等多様な演奏経験を積みほかに、また幼児教育においても、ミミ・ツヴァイグ、ブレンダ・ブレナー各氏の監督のもと、子供のための音楽教室や地域の小学校音楽教育に携わり、研鑽を積む。2007年、2008年、2009年にウィーンに夏期留学。ソロヴァイオリンの他、ドイツ語、室内楽を学ぶ。2012年アスペン音楽祭参加。2013年カリフォルニア州ナパバレーにて、パフォーマンスアートセンターフェロー第1期生に就任。地域の音楽教育、文化発展を目的とし、音楽大使として教育、音楽活動に努める。2014年同プログラムを修了。同年7月に帰国。ヤマハ英語教室講師を勤めながら、更に自身のヴァイオリン演奏を追求している。